

まずは大崎町が定住促進を目的として整備した地域優良賃貸住宅について。大手建設会社系のユーミーファイナンシャル(株)と組み、町の支出がない「0系PFI」を実現していました。建物の施工は地元業者で行っているとのこと。家賃は近傍同種の民間賃貸住宅と均衡を失しない額として設定。全ての町営住宅をこの家賃設定にすることはできませんが、定住促進のため本町にも1棟はあって良いのでは、と感じました。

定住促進を目的とした地域優良賃貸住宅



次に、『大崎町リサイクル未来創生プログラム〔リサイクル奨学パッケージ〕』について。大崎町は11年連続で一般廃棄物リサイクル率日本一(なんと27品目分別!)を続けており、慶応大学、鹿児島相互信用金庫と協定を結び、リサイクル事業での収益・年800万円などを原資に基金を創設し、町へUターンし

た方へ民間奨学ローンの元利金相当分を支援する、という制度。町民全体の努力で得た収益金を町の活性化に活かす仕組みはとても参考になりました! また、あくまで民間のローンなので与信審査があるため、既存の奨学金制度は続けていくとのことでした。

最後に、ふるさと納税について。大崎町は平成25年度にふるさと納税を開始し、平成26年度返礼品を3種類にしたことで寄付額が1千万円を達成。同時に旅行代理店大手のJTBと商品開発や宣伝等について契約。平成27年度返礼品を90種類に増やし、ポイントカタログ方式・クレジットカード払いを全国に先駆けて導入し、寄付額27億円を達成。平成28年度は寄付額17億円となっています。担当者によると、JTBを巻き込み、全国に先駆けて取り組むことができ、さらに返礼品で町の業者が潤い、雇用も生まれ、仕事の創設にも繋がっている、とのこと。またふるさと納税は、ブームは過ぎたが、通

連載 No.59

にしんじょう 西経良 presents



うがみやぶら (こんにちは)

鹿児島事務所です!

今回は同行した知名町教育委員会による、大崎町行政視察研修についてレポートします!

常の納税よりメリットがある。工夫次第ではまだまだチャンスはある、ともおっしゃっていました。

今回の視察研修で感じたことは、同じお金をかけるのであれば、分野にもよりますが、プロである民間の力をかりて様々なことに取り組むほうが、効率的に町民へ還元できるということ。本町も地方創生として「まち・ひと・しごと」の三位一体の発展を掲げております。改めてその重要性を感じることができました!

それではまた来月号まで、どうかさしきばっていたばりよー!



鹿児島事務所ってどんなところ?

知名町鹿児島事務所は鹿児島における知名町の拠点施設として各種業務を行っています。また、知名町というブランド名を広めるため、物産展や各種イベントを通じて知名町をアピールしています。

活動紹介は Facebook ページをチェック!



母の家がごみ屋敷 工藤 哲/著 (毎日新聞出版)

離れて住む父や母の住まいが、なぜ「ごみ屋敷」になってしまうのか。その背景を探り、高齢者のセルフネグレクト(自己放任)の現状や行政の取り組み、課題を紹介する。『毎日新聞』掲載に追加取材を加え書籍化。

ビブリオクイズ 笹倉 剛/著 (あいり出版)

クイズを盛り込むことで、本の内容により興味をもってもらえるように工夫したビブリオトーク、「ビブリオクイズ」を紹介。クイズを活用したビブリオトークの実践事例を多数収録する。



町立図書館 (93) 4356 http://www.china-lib.jp/

ケータイで読みたい本を Let's 検索!

